



MDP

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第29節
@ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL 18

Sagan

22
FW
Cayman TOGASHI

揺らぐことのない信条。

責任から逃げずに楽しむ

09.30 [SAT]

19:00 KICK OFF
VS 京都サンガF.C.



© 2006 KYOTO PURPLE SANGA CO., LTD.

「先発であっても途中からの出場であっても僕に求められていることは得点だし、やらなければいけないところ。そこは常に責任が伴うし、自分が楽しめる部分でもある」。富樫敬真は自分自身に与えられる役割についてそう話す。勝敗の責任は全員で背負うものだが、ゴールキーパーには「守護神」、フォワードには「ストライカー」という呼び名があるように得点と失点に直結するポジションにはやはりほかのポジションとは違う責任の重さがある。得点は誰が取ってもいいというのが突出した個人を生かすよりもチームとして一丸となって戦うことがベースとしてあるサガン鳥栖のスタンスだ。それでも、「フィニッシュのところではフォワードがパワーを使える仕組み」(富樫)になっているのも強みの一つ。朴一圭もビルドアップに参加するように全員がボールに絡み、前進させることができるからこそ、フォワードはペナルティエリア内での「シュートを決める」という作業により集中できるのだ。

読谷村キャンプでの今季初の対外試合でチーム初得点を挙げたのが富樫だった。「基本的には中央で自分がクオリティーさえ出せば点は取れるという感じ。その作業に集中できるのはありがたい」と新天地での好スタートは富樫に大きな希望を抱かせた。しかし、第5節ヴィッセル神戸戦での長期離脱により、抱いた可能性を現実のモノにするには時間を要することになった。待望の初ゴールは負傷明けの第20節のセレッソ大阪戦となったが、負傷期間に「チームの完成度が高まっていく中で復帰すれば自分が点を取れるチャンスは増えるはず」とイメージして取り組んできた成果が表れた。前節のFC東京戦ではPKで得点を記録。前々節の横浜F・マリノス戦でのPK失敗があった中で「PKが取れたら自分で蹴ろうと決めていた」と責任から逃げない強さをゴールという結果で示してみせた。現在、3得点という数字には満足できるはずがない。責任から逃げずに重圧を楽しむ。チームの勝利のために富樫はどん欲に得点を目指す。

matchday program presents

佐賀県 presents

SAGANゼロカーボンチャレンジマッチ